



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年7月29日

上場会社名 広栄化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4367 URL http://www.koeichem.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津田 重典
 問合せ先責任者 (役職名) 経理室長 (氏名) 浜辺 昭彦 (TEL) 03(6837)9304
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第1四半期の業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,314	11.9	141	-	180	-	119	-
27年3月期第1四半期	3,854	-	△220	-	△226	-	△148	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	4.88	-
27年3月期第1四半期	△6.08	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	20,786	13,083	62.9
27年3月期	20,512	13,091	63.8

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 13,083百万円 27年3月期 13,091百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0.00	-	7.00	7.00
28年3月期	-	-	-	-	-
28年3月期(予想)	-	0.00	-	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,200	6.2	370	-	350	-	260	-	10.63
通期	19,000	1.8	900	40.4	850	20.8	300	△8.9	12.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期 1 Q	24,500,000株	27年3月期	24,500,000株
28年3月期 1 Q	35,398株	27年3月期	35,398株
28年3月期 1 Q	24,464,602株	27年3月期 1 Q	24,464,995株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
3. 四半期財務諸表	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(重要な後発事象)	P. 6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間のわが国経済は、原油価格下落及び為替の円安効果が企業業績を押し上げ、緩やかな回復傾向が継続しました。また、景気回復により、企業の景況感も改善し、輸出関連業種を中心に設備投資も増加しました。

このような情勢のもとで、当社は、コスト合理化及び生産性向上に取り組むとともに、売価是正、拡販に注力し、収益改善に努めました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は 43億14百万円（前年同四半期比11.9%増）となり、営業利益は1億41百万円（前年同四半期は営業損失2億20百万円）、経常利益は1億80百万円（前年同四半期は経常損失2億26百万円）、四半期純利益は1億19百万円（前年同四半期は四半期純損失1億48百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前事業年度末に比べ2億76百万円増加し114億81百万円となりました。

固定資産は前事業年度末とほぼ同水準の93億5百万円となりました。

この結果、総資産は207億86百万円となり、前事業年度末に比べ2億74百万円増加しました。

(負債)

流動負債は、未払金の増加により、前事業年度末に比べ2億75百万円増加し56億46百万円となりました。

固定負債は前事業年度末とほぼ同水準の20億56百万円となりました。

この結果、負債合計は77億2百万円となり、前事業年度末に比べ2億82百万円増加しました。

(純資産)

純資産は、四半期純利益の計上及び配当金の支払いにより、前事業年度末に比べ8百万円減少し130億83百万円となりました。その結果自己資本比率は、前事業年度末63.8%から62.9%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績見通しは、平成27年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生する原価差異等につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

2. 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	394	1,205
売掛金	4,771	4,149
商品及び製品	3,842	3,480
仕掛品	758	937
原材料及び貯蔵品	847	890
その他	589	816
流動資産合計	11,204	11,481
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,420	3,380
機械及び装置(純額)	2,440	2,451
その他(純額)	1,101	1,077
有形固定資産合計	6,962	6,909
無形固定資産	22	20
投資その他の資産		
投資有価証券他	2,330	2,383
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	2,322	2,375
固定資産合計	9,307	9,305
資産合計	20,512	20,786
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,752	2,670
短期借入金	1,540	1,540
未払法人税等	188	65
賞与引当金	97	-
その他	793	1,370
流動負債合計	5,370	5,646
固定負債		
退職給付引当金	1,597	1,617
その他	452	438
固定負債合計	2,049	2,056
負債合計	7,420	7,702
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,343	2,343
資本剰余金	1,551	1,551
利益剰余金	7,964	7,912
自己株式	△10	△10
株主資本合計	11,847	11,795
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,244	1,288
評価・換算差額等合計	1,244	1,288
純資産合計	13,091	13,083
負債純資産合計	20,512	20,786

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	3,854	4,314
売上原価	3,386	3,457
売上総利益	467	857
販売費及び一般管理費		
発送費	122	130
給料手当及び賞与	199	214
退職給付費用	15	18
試験研究費	215	201
その他	134	151
販売費及び一般管理費合計	688	715
営業利益又は営業損失(△)	△220	141
営業外収益		
受取配当金	24	22
為替差益	-	29
雑収入	3	4
営業外収益合計	27	56
営業外費用		
支払利息	4	2
固定資産除却損	2	14
為替差損	25	-
雑損失	0	0
営業外費用合計	33	17
経常利益又は経常損失(△)	△226	180
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△226	180
法人税等	△78	61
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△148	119

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成27年7月2日の取締役会において、当社のペンタエリスリトール類(ペンタエリスリトール、ジペンタエリスリトール、ギ酸ソーダ)に係る事業を譲渡することを決議いたしました。

1. 事業譲渡の理由

当社は既存事業の抜本的な構造改革を図るため、ペンタエリスリトール類(ペンタエリスリトール、ジペンタエリスリトール、ギ酸ソーダ)に係る事業をPERSTORP AB(publ)に譲渡することを決定しました。

当事業は、事業環境の悪化に対応すべく生産合理化に努めてきましたが、今後の設備維持、補修等の更なる投資を行い競争力を維持していくことは困難であると判断いたしました。

2. 事業譲渡の概要

事業譲渡先の名称	PERSTORP AB (publ)	
譲渡事業	ペンタエリスリトール類(ペンタエリスリトール、ジペンタエリスリトール、ギ酸ソーダ)事業	
譲渡事業の売上高	3,830百万円(2015年3月期売上高実績:18,664百万円の20.5%)	
譲渡資産	知的財産、ノウハウ、営業記録、関連諸契約等 なお、棚卸資産、固定資産の変動はございません。	
譲渡価額	譲渡先との契約により非公表とさせていただきます。	
日程	事業譲渡取締役会決議	平成27年7月2日
	事業譲渡契約締結	平成27年7月6日
	事業譲渡期日	上記締結日から1年後目処